

# 青森県景気ウォッチャー調査

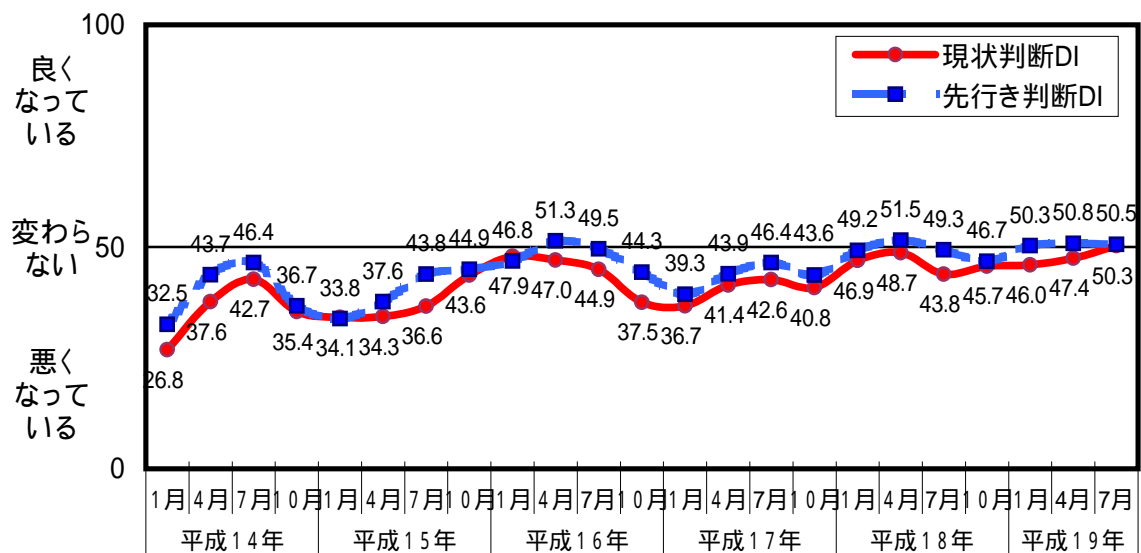
## (平成19年7月期)

調査期間 平成19年7月2日～7月18日 回答率99%

### 概況

7月期は、景気の現状判断DIは4期連続で上昇して、調査開始以来初めて横ばいを示す50を上回り、先行き判断DIは前期を下回ったものの、3期連続で横ばいを示す50を上回った。

### 景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成19年8月

青森県企画政策部統計分析課

## 青森県景気ウォッチャー調査について

### 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### 地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

#### (2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

#### (3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

### 3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
 TEL 017-734-9165(直通)又は017-722-1111(内線2189)  
 FAX 017-734-8038

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」が8.9ポイント増加し、「変わらない」が7.7ポイント減少したことにより、全体では2.9ポイント増の50.3となり、調査開始以来初めて横ばいを示す50を上回った。</p> <p>判断理由をみると、税負担感の増加や消費マインドが冷え込む話題が多いという声が見られる一方、好天候による消費の好調や一部で客単価が上がったという声が見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連で4.5ポイント増加したが、企業関連で1.4ポイント、雇用関連で3.6ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、東青、津軽、下北地区においてポイントが増加したが、県南地区ではポイントが減少し、東青、津軽の2地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が4.6ポイント減少したことにより、全体では前期を0.3ポイント下回る50.5となったが、3期連続で横ばいを示す50を上回った。</p> <p>判断理由を見ると、金利上昇や原材料の高騰による一部商品の値上げ、税負担増加が家計に及ぼす影響を懸念する声が多くある一方、好天候による消費拡大への期待や県内一部地域における地上デジタル放送の開始による需要に期待する声が見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連で2.0ポイント増加したが、企業関連で9.7ポイント減少した。雇用関連は前期と同ポイントとなった。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、津軽地区においてポイントが増加したが、県南、下北地区においてはポイントが減少した。東青地区は前期と同じであった。津軽地区50.8、県南地区50.9、下北地区52.5と、3地区において、横ばいを示す50を上回った。</p>

## 2. 県全体の動向

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>43.8</b>	<b>45.7</b>	<b>46.0</b>	<b>47.4</b>	<b>50.3</b>
家計関連	41.3	44.2	45.3	45.5	50.0
小売	40.8	47.5	49.2	43.3	45.8
飲食	35.4	37.5	41.7	43.2	50.0
サービス	41.7	42.3	43.3	47.1	54.8
住宅	54.2	50.0	41.7	54.2	50.0
企業関連	50.0	54.2	50.0	52.8	51.4
雇用関連	53.6	39.3	42.9	53.6	50.0

回答別構成比(%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
やや良くなっている	9.0	14.3	13.1	15.3	24.2
変わらない	63.0	61.2	60.6	62.2	54.5
やや悪くなっている	22.0	17.3	23.2	15.3	19.2
悪くなっている	6.0	7.1	3.0	6.1	2.0

### (2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=99

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>49.3</b>	<b>46.7</b>	<b>50.3</b>	<b>50.8</b>	<b>50.5</b>
家計関連	48.7	47.3	50.7	49.0	51.0
小売	50.0	50.0	51.7	45.0	48.3
飲食	43.8	39.6	45.8	45.5	52.1
サービス	49.1	48.1	51.0	54.8	54.8
住宅	50.0	45.0	54.2	50.0	45.8
企業関連	52.8	47.2	52.8	56.9	47.2
雇用関連	46.4	39.3	39.3	53.6	53.6

回答別構成比(%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなる	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0
やや良くなる	19.0	17.3	17.2	21.4	22.2
変わらない	58.0	56.1	68.7	62.2	57.6
やや悪くなる	20.0	18.4	12.1	14.3	16.2
悪くなる	2.0	7.1	2.0	2.0	3.0

### 3. 地区別の動向

#### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

##### < 東青地区 >

DI

n=30

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	44.2	41.4	44.0	46.7	49.2
家計関連	42.4	42.0	45.5	46.7	47.8
小売	41.7	47.2	50.0	44.4	44.4
飲食	41.7	41.7	50.0	58.3	50.0
サービス	41.7	36.1	37.5	44.4	52.8
住宅	50.0	50.0	50.0	50.0	37.5
企業関連	50.0	43.8	43.8	50.0	50.0
雇用関連	50.0	33.3	33.3	41.7	58.3

回答別構成比(%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.3	10.3	10.0	20.0
変わらない	60.0	55.2	62.1	70.0	56.7
やや悪くなっている	26.7	24.1	20.7	16.7	23.3
悪くなっている	3.3	10.3	6.9	3.3	0.0

##### < 津軽地区 >

DI

n=30

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成18年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	43.3	47.5	45.0	40.0	46.7
家計関連	40.9	47.7	44.3	36.4	47.7
小売	38.9	52.8	50.0	27.8	41.7
飲食	41.7	50.0	41.7	33.3	41.7
サービス	40.6	40.6	40.6	46.9	56.3
住宅	50.0	50.0	37.5	37.5	50.0
企業関連	45.8	50.0	45.8	45.8	50.0
雇用関連	62.5	37.5	50.0	62.5	25.0

回答別構成比(%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	6.7	10.0	10.0	6.7	16.7
変わらない	66.7	73.3	63.3	60.0	60.0
やや悪くなっている	20.0	13.3	23.3	20.0	16.7
悪くなっている	6.7	3.3	3.3	13.3	6.7

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>46.7</b>	<b>49.1</b>	<b>47.5</b>	<b>57.1</b>	<b>53.4</b>
家計関連	44.0	45.0	45.2	55.3	53.8
小売	50.0	52.8	47.2	58.3	52.8
飲食	25.0	16.7	33.3	37.5	50.0
サービス	39.3	45.8	50.0	50.0	54.2
住宅	62.5	50.0	37.5	75.0	62.5
企業関連	53.6	60.7	53.6	60.7	50.0
雇用関連	50.0	50.0	50.0	62.5	62.5

回答別構成比 (%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0
やや良くなっている	13.3	20.7	20.0	35.7	34.5
変わらない	63.3	62.1	50.0	50.0	44.8
やや悪くなっている	20.0	10.3	30.0	7.1	20.7
悪くなっている	3.3	6.9	0.0	3.6	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>35.0</b>	<b>42.5</b>	<b>50.0</b>	<b>45.0</b>	<b>55.0</b>
家計関連	33.3	38.9	47.2	44.4	52.8
小売	16.7	16.7	50.0	41.7	41.7
飲食	33.3	41.7	41.7	41.7	58.3
サービス	50.0	58.3	50.0	50.0	58.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	75.0	50.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	20.0	10.0	0.0	30.0
変わらない	60.0	40.0	80.0	80.0	60.0
やや悪くなっている	20.0	30.0	10.0	20.0	10.0
悪くなっている	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0

( 2 ) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

D I

n=30

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>50.8</b>	<b>40.5</b>	<b>44.8</b>	<b>49.2</b>	<b>49.2</b>
家計関連	48.9	40.9	45.5	47.8	48.9
小売	55.6	47.2	52.8	44.4	50.0
飲食	41.7	41.7	41.7	50.0	50.0
サービス	47.2	33.3	37.5	52.8	47.2
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	50.0
企業関連	62.5	43.8	56.3	56.3	56.3
雇用関連	50.0	33.3	25.0	50.0	41.7

回答別構成比 (%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3
やや良くなる	20.0	10.3	13.8	26.7	16.7
変わらない	56.7	51.7	58.6	46.7	56.7
やや悪くなる	16.7	27.6	20.7	23.3	20.0
悪くなる	3.3	10.3	6.9	3.3	3.3

< 津軽地区 >

D I

n=30

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>46.7</b>	<b>45.0</b>	<b>53.3</b>	<b>49.2</b>	<b>50.8</b>
家計関連	46.6	45.5	53.4	45.5	51.1
小売	41.7	44.4	52.8	41.7	50.0
飲食	58.3	41.7	50.0	41.7	58.3
サービス	46.9	50.0	56.3	50.0	53.1
住宅	50.0	37.5	50.0	50.0	37.5
企業関連	50.0	45.8	54.2	62.5	45.8
雇用関連	37.5	37.5	50.0	50.0	62.5

回答別構成比 (%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	16.7	16.7	13.3	20.0
変わらない	56.7	53.3	80.0	73.3	66.7
やや悪くなる	23.3	23.3	3.3	10.0	10.0
悪くなる	3.3	6.7	0.0	3.3	3.3

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>52.5</b>	<b>52.6</b>	<b>50.8</b>	<b>52.7</b>	<b>50.9</b>
家計関連	53.6	53.8	51.2	52.6	52.5
小売	58.3	61.1	50.0	47.2	47.2
飲食	33.3	25.0	41.7	37.5	50.0
サービス	53.6	58.3	53.6	62.5	62.5
住宅	62.5	50.0	62.5	62.5	50.0
企業関連	50.0	50.0	50.0	50.0	42.9
雇用関連	50.0	50.0	50.0	62.5	62.5

回答別構成比 (%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなる	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	26.7	24.1	20.0	25.0	31.0
変わらない	56.7	58.6	63.3	60.7	44.8
やや悪くなる	16.7	6.9	16.7	14.3	20.7
悪くなる	0.0	6.9	0.0	0.0	3.4

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>42.5</b>	<b>52.5</b>	<b>55.0</b>	<b>55.0</b>	<b>52.5</b>
家計関連	41.7	52.8	55.6	52.8	52.8
小売	33.3	41.7	50.0	50.0	41.7
飲食	41.7	50.0	50.0	50.0	50.0
サービス	50.0	66.7	66.7	58.3	66.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	50.0	75.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
変わらない	70.0	70.0	80.0	80.0	70.0
やや悪くなる	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	来客数が変わらないが、客単価が上がり、売上が好調。(お客様のサイフのヒモがゆるくなってきたように感じる。)
			スナック	決して良くなっていないと思いますが、六月は県外のお客様の予約が有り良かったですね。青森での会合が多かったのでしょうか。又、ホテルからの紹介が有り、大変助かりました。
			旅行代理店	団塊退職者をターゲットにしたデラックス旅行が売れている。
		津軽	美容院	異常気象が幸いしてか、天候に恵まれ、人も豊作物も良い状態になっているようだ。
			旅行代理店	天候等の影響で消費の動きがみえてきている。
			一般小売店	4・5月より6月が良くなっているため。
		県南	レストラン	ディナータイムにおいて、客単価が若干上がってきている。
			家電量販店	「地デジ」放送開始による需要が発生するため。
			スーパー	購買意欲が出てきた感じがする(いい商品に限るが)。
			設計事務所	友人・知人の様子を見て。
	観光型ホテル・旅館		宿泊客の人数及び単価が上昇している。	
	商店街		イベントがあり、人出は増えている。	
	タクシー		設備投資が増えている。新築の建物が建っている。	
	下北	一般飲食店	7月に入って少し良くなったように感じられますが、あとどのようになるか今のところまだ分かりません。	
		都市型ホテル	観光シーズン中という理由から。	
	企業	東青	建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き、民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから、目立った変化はないと考えられるものの、幾分は改善されよう。
			津軽	電気機械製造
		津軽	経営コンサルタント	夏物商品の出足がよい。
		県南	電気機械製造	受注好調で1年間くらい安定して仕事が続いています。東海地方の人手不足によりこちらに流れてくる仕事も多い。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	企業	下北	食料品製造	各市部や観光地への他の地域からの出入りが多くなっているように見える。
	雇用	東青	人材派遣	3月頃は比較的需要があったものの、4月以降パタッと止まってしまった。又、派遣社員の募集に対しても応募者は極端に減少している。景気が回復し、売手市場が定着してきているのだろうか。
		県南	新聞社求人広告	求人が増えてきた感じあり。
変わらない	家計	東青	スーパー	競争が激しくなったのは確かだが、景気が良くなったとも悪くなったとも判断出来ない。
			衣料専門店	プロパー販売時期（5月・6月）は特に売上が悪い。売上が悪いからメーカーの生産数も少なく、目新しいものが品薄だ。悪循環の流れは変わっていない。
			一般飲食店	材料がない。
			卸売業	今のところはあまり変化が見られませんが、今後いろいろな商品が値上げになってきているので先行き不透明です。
			競輪場	入場者、売上げが横ばい状態である。
			ガソリンスタンド	現金でガソリンをお買い上げのお客様の中に、1,000円分とか20リットル分とか指定給油する方が非常に多い。
			家電量販店	天候に恵まれ、エアコン、扇風機、園芸等一部商品は好調だが、全体の客数が伸びない。
			商店街	天候的には早い夏の到来とカラ梅雨が消費の落ち込みを抑制しているのではないか。
			設計事務所	少ないながらもポツンポツンと物件が出ておりますが、全般が潤うにはまだまだのようです。
			乗用車販売	新車の売れ具合や、お客様の来店が少なくなっている。
		観光型ホテル・旅館	旅行に関しては首都圏を中心に動きが良くなってきているが、北東北についてはあまり動きが良くないと思われるため。	
		タクシー	1．今冬の暖冬、雇用改善が見えない。低所得（若年者の流出）。2．支出（光熱費、増税）生活商品の値上げ等で悪循環を脱する材料がない。	
		津軽	百貨店	3～4月の天候不良による春物の買い控えでの落ち込みを反映。6月は好天高温により夏物需要は伸長しつつあるも、セール等の直前型需要は変わらない状況。
パチンコ	色々な業種共に競争の激化により非常に厳しい状態であると思われる。そのため客単価も低く、大きな伸びに繋がらない。			

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	タクシー	日本銀行の発表では東北地方の景気は緩やかながら回復を続けていると発表しているが、実感が感じられない。
			観光名所等	少子高齢化（修学旅行の入り込み数等に表れている）
			スーパー	過去3ヶ月前と前年を比べても客数が増えているが客単価が下がっている（買い回りの傾向が見られる）。
			スナック	何か会合がなければ特に飲みに行く（来る）お客様がいない。
			家電量販店	前年と比較して伸びてはいるが、まだまだ厳しいのでは。
			ガソリンスタンド	石油製品の高騰で関連製品の物価にも影響し、消費が鈍い。
			卸売業	個人発注工事は横ばい、公共工事の入札がまだ少ない為。
			都市型ホテル	景気に作用するような大きな出来事は特に見当たらない。
		県南	衣料専門店	企業の経営利益が上がり、いざなぎ景気よりしっかり景気回復しているらしいが、私達には実感がわからない。
			一般飲食店	自店、他店の情報を聞いても良いところはないようだ。横ばいで良い方で、ほとんどがダウン。税金は上がるし、国内を見てもトラブルばかりで明るい話題がないのも因の一つ。
			旅行代理店	選挙の多い年は景気も良くないと良く言われますが、いろいろと波及し、そういったことも何らかの形で影響してきているのではないかと感じています。
			卸売業	大都市においては景気が緩やかに回復しているようであるが、地方は依然として実感できる状況にない。
			観光名所等	店の売上げが横ばい状態です。ただ、5月に下がって、6月に上がったので、やや上向き？
			下北	レストラン
	一般小売店	気温が高かったせいかわりに、5月に比べ6月、7月とお客様が多く来店されています。しかし、買い方はやはり必要買いで、安くて良い物を探しておられます。無駄な物を買わないという動きから、景気が良い方向へ向かっているとは安易に判断できません。		
	タクシー	家計でも企業でも聞こえてくる話は買い控えの話ばかりです。		
	スナック	選挙の多い時はあまりパットしない。		
	ガソリンスタンド	相変わらずお客様との会話の中にも明るい話は全くといって良いほど聞かれないため。		
	コンビニ	ずっと底をはいつくばっている感じです。		

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	広告・デザイン	広告予算は縮小したままであり、かつ新しい事業や既存事業の拡大を積極的に取り組んでいる企業が少ない。
			経営コンサルタント	住宅投資が低調。個人消費の低迷も続いている。建設業の低迷が激しい。
		津軽	飲料品製造	年金問題も解決していない上、高齢者の方の介護サービス等不安材料もあり、結果として上向きとなる要因が見つけれないため。
			食料品製造	支払が滞るとか、支払サイドが長くなっているとかが見受けられる所がでてきた。
		県南	経営コンサルタント	一部の業種で明るさが見えてきたが、県全体で見ればまだまだの状況である。特に建設業がよくない。
			広告・デザイン	基本的ベースで景気が悪いのでそれが上向きになってきたところで良いとは言えない。又、景気が良くなるための要因が全く見つからない。
			紙・パルプ製造	輸入諸資材高、円安等により企業収益は厳しい状況が続いている。総論的に言われる景気の底堅さは、企業のリストラ等の効果による面が大きく、利益の配分が一般消費者に行き渡っていない。都市部以上にそれを感じる。
			食料品製造	県内は低成長、県外は大都市の一部業種に偏った富の集中の環境は以前と変わっていないから。
			飲料品製造	新しい企画などチャレンジするというよりは現状維持、売れるものを確実に売っていかうという考えが垣間見える。当然、その先は定番、安価なものしか動かない。
		雇用	東青	新聞社求人広告
	津軽		人材派遣	大手企業の業績向上、またそれに伴う企業の設備投資増加等、景気上昇の要素は多分にあるように思う。しかし、一方個人に目を向けると、年金問題や参議院選挙結果等の社会不安があり、消費の妨げになっているのではないかと。
	県南		人材派遣	一見景気が良く見える場合があるが、そこは需要と供給。一概には言えないと考える。
	やや悪くなっている	家計	東青	コンビニ
百貨店				不安定な天候、エスカレートする年金問題、消費税率見直しの動き等、景気マイナス要点が増える一方である。
住宅建設販売				住宅のローコスト化、高額土地物件の売買減少、中古物件、土地物件探索の希望金額減少(低下)。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	都市型ホテル	仕入価格等の上昇が見られ収益面で影響がある。
			レストラン	同業同士で話をしてもあまりいいとは言わないし、問屋さんの話を聞いてもぜんぜんダメという返事。
			美容院	昨年から来店サイクルが急激に悪化している。
		津軽	乗用車販売	登録車・軽自動車共に需要が落ち込んでいる。
			一般飲食店	暑いけれど、衣類程に飲食に来ていない。
			商店街	来街者の状況や当会加盟店のポイント購入及び発行状況から見て景気が良い方向になっているとは考えにくい。
		県南	美容院	来店の間隔が長くなってきている。約1ヶ月は延びています。定率減税や県市民税の割高感で様子見ているかもしれません。
			百貨店	消費に対する生活者がよりシビアになってきている。勝ち組・負け組問わず、全体の数値は下がってきている。客数低下も単価アップ！6月は天候にも恵まれ夏物好調も、7月低温で苦戦。
			一般小売店	中国製品の安全性問題や食肉メーカーの牛肉偽装問題等、物販のイメージにマイナスな事ばかりがニュースソースとなり、関係のない物にまで買い控えの波が影響しそうである。
			コンビニ	増税による家庭収入の大幅減。原油価格の高騰による、消費者へのダメージ大！！
	スナック	街の人通りが少なくなった。良くない方向に向かっている。		
		下北	スーパー	客数の減少および客単価の減少傾向が目立ってきている。
	企業	東青	食料品製造	消費者の購買意欲を削ぐ様な事件が続々と起きているので。
			津軽	広告・デザイン
悪くなっている	家計	津軽	コンビニ	定率減税の廃止、住民税の負担増
	雇用	津軽	新聞社求人広告	4月に比べ約10%の減収。前年比では15%の減。

( 2 ) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	観光名所等	本年度は天気が良く、国産品の需要も高くなりそうなので、秋口の旅行者が増え、観光業としては期待がもてる。
やや良くなっている	家計	東青	家電量販店	青森が一番華やか季節で、当面は活況を呈すると思うが、経済基盤が脆弱なため、秋口以降は厳しい。
			一般小売店	やや良くなっている、と希望したい。
			旅行代理店	売上が昨年同月より伸びている事から今後期待がもたれる。
	津軽	家電量販店	7~8月好天による夏物商品に期待して・・・。	
		スナック	夏なのでビールの時期だから、暑くなったら客足が伸びるのではないか？	
		一般小売店	昨年に比べ、天気が良くなっている。	
		旅行代理店	統一選挙も終わり、天候次第ですが、今の状態が継続していくと思います。	
	県南	レストラン	段々と集客が良くなってきている様に思われるため、景気が今後も回復傾向になるのではと考えている。	
		家電量販店	八戸地区又は上北地区において「地デジ」が8月よりスタートするため。TVやそれに関連する商品等の売行きに変化があると考えられるため。	
		乗用車販売	相変わらず土木建設関係は復調の兆しが見えない。	
		タクシー	市の活性化対策が少しずつ実を結んできているようだ。新卒者の就職率も上向いていると聞く。	
		観光名所等	中国のピーマン等の残留農薬問題。お客様がやっぱり国産じゃないと安心できないと言っていました。	
		スーパー	天候与件で(暑くなると思うので)景気を少しアップすると考えます。	
		観光型ホテル・旅館	観光業界として北東北デスティネーションキャンペーンなどの効果を期待。	
		商店街	季節が暑くなってゆくので、消費者の方々も戸外へ出る機会が増えると思います。	
下北	都市型ホテル	ツアー客が増加しているのと、有名人に会いに来ているのと。		

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	下北	ガソリンスタンド	観光客やお盆の帰省客が多少なりとも増えると思われるので、期待も込めてやや良くなると思われる。
			企業	東青
	建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き、民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから、目立った変化はないと考えられるものの、幾分は改善されよう。		
	津軽	経営コンサルタント		今の天候が続くのを前提として、農産物の出来が良ければ。
	雇用	津軽	人材派遣	大手企業の業績向上に伴い、地方にも波及効果が現れ、景気浮上のきっかけになるのでは。
		県南	新聞社求人広告	期待も込めて、良くなって欲しい。
変わらない	家計	東青	コンビニ	天候に左右されますので暑い夏がこないと???という声ばかりが聞こえています。
			百貨店	景気上向きを予感させる兆候、事象が見られないと思う。(地域間格差は広がると思う。)大都市圏、中央の回復、地方の停滞。
			スーパー	多分暑い夏、しかも長い夏になると思う。しかし、お祭りも含めて大きな変化はないと思う。
			一般飲食店	一寸すれば陽気が良いので若干良くなるかも?
			競輪場	変動要素が見当たらない。
			レストラン	ボーナス時期なのに、ぜんぜん動き(お客様の流れ)がない。
			乗用車販売	状況からして変わらないと思う。
			衣料専門店	晩夏初秋物は、ここ5・6年不発でした。8月末~9月末までの天候が順調であれば好転するかもしれませんが、夏が長引けば、冬物まで売上不振は続くでしょう。
			スナック	わかりません。八月のねぶた祭りに期待しておりますが、私達のお仕事、飲食業は毎年静かです。二次会なんてないので・・・。
			設計事務所	良くする為の自助努力のみ。
			観光型ホテル・旅館	今回の選挙の結果により、動向が上下するのではないかと。秋以降、消費税の税率がどうなるかで変わるのではないのでしょうか。
			美容院	良い商品を求めるお客様が少し増えてきたような感じがするが、まだまだ5、6年前の水準ではない。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	百貨店	市況が活性する判断材料が見あたらない。
			パチンコ	今後、農繁期を迎えるため、期待薄と思われる。
			都市型ホテル	恒例の行事はまあまあ行われているが、新たな動きが感じられない。
			タクシー	身の廻りの他の企業の方に聞いても、どこもいい話がない。
			美容院	良い兆しはあるものの、極化の余韻が整理されてゆく波のしわ寄せが各所にあるようだ。
			観光名所等	資源、原料の値上がりによる物価上昇、金利上昇。
			衣料専門店	ボーナス期ですので消費伸びる可能性多少あり。
			ガソリンスタンド	住民税の値上げが家計を圧迫し、経済に悪影響が出そうだ。
			商店街	好転する要因となるものが見受けられない。
			一般飲食店	夏祭りに期待したい。
			住宅建設販売	住宅建設は春着工盆前引渡し、盆明け着工冬前引渡しと大きなサイクルがある。しかし今年は雪解けが早いにもかかわらず、春一番の着工数が少なく、遅かった為サイクルがずれ、盆過ぎの着工数を危ぶむ声が多い。
			観光型ホテル・旅館	去年と比較し今年は客足は減っています（格段に・・・）。弘前に新しくビジネスホテルが開業します。秋頃になっても客足が伸びる期待はできません。
			卸売業	主に公共工事の発注見込みが不透明である為。
		県南	衣料専門店	税金が上がり、保険料の負担も増えているが、給料は増えてません。景気が上がっているように思えません。
			美容院	社保庁問題や税負担などの要素がまだまだ心に残っているので、自己防衛反応が強いと思う。
			設計事務所	実際は変わらないと思う。
			旅行代理店	ガソリン等燃料価格の高止まり、また、バイオ燃料がらみでの原料高騰なども徐々に影響が出てくるのではないかと懸念しています。
			一般飲食店	イベントには好天気になれば盛り上がりがあるかもしれない。自力ではよほどの工夫が必要。明るいニュースが欲しい。
		下北	タクシー	必要にせまられている物でも無理と我慢で通している。現状はまだまだ変わらないようです。これでは景気が良くなるはずはないです。将来の安心が期待できる対策が必要では？



先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	下北	レストラン	先々の事はわかりません。ただ、景気が良くなることを祈るだけです。	
			一般小売店	雇用環境は一向に改善されず、年金問題等々暗い話題ばかりです。買い物は相変わらず慎重であると予想されます。	
			一般飲食店	まだまだ未定です。	
			コンビニ	下々の人の生活が楽になるような政策がない。	
	企業	東青	津軽	広告・デザイン	材料が見当たらない。
				食料品製造	景気が良くなる兆しが見えない。
		県南	下北	飲料品製造	青森県内に経済活動を活発にするような出来事が起こらない限り上向きになるとは考えられない。ただ期待できる要素は多々あると思う。
				電気機械製造	景気が特別良くなっていくことは、材料の高騰や人件費を考えると、そうならないとは思うものの、ヨーロッパの景気が良いので、当社としては仕事の多い状態が続くと考えられます。
				広告・デザイン	景気が低迷状態でコスト削減をされやすいのは”広告”の場合が多く、それが今後も現実の問題として体感している様な状況であり、短期間の時間では変化がないように思われる。
				飲料品製造	イベントが盛りあがらず、お祭りがひかえているが、一瞬の盛り上がりだと思し、税金（住民税）もあがったり、良くなる要素がない。
				食料品製造	改善される要素（輸出・外需頼み）と改善されていない要素（内需拡大）のバランス変化が鈍いため。
				紙・パルプ製造	雇用情勢や給与所得の改善が見られるようにならないと、良くなっていると実感するのは難しいのではないかと。
				食料品製造	メインの夏祭りの時期に入るが、あまり期待しない方がいいのでは・・・。
				雇用	東青
新聞社求人広告	地元商店の閉店など、良くなる要素が少ない。				
新聞社求人広告	これ以上悪くならないように - との願望を込めて。				
やや悪くなっている	家計	東青	商店街	税源移譲で市民税が、所得税の減税分がなくなったことで、実質増税となり、その分消費に回らなくなることが予想される。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	都市型ホテル	祭りなどで一時は良くなると思われるが、競合先の新規参入により厳しい状況になると考えている。
			ガソリンスタンド	様々な業種の中で老舗と呼ばれる企業がのきなみ倒産・廃業している現状を見ると、消費は冷え込む一方のように思われる。
			卸売業	今のところはあまり変化が見られませんが、今後いろいろな商品が値上げになってきているので先行き不透明です。
		津軽	設計事務所	参議院選挙が終わり、国会の審議が始まって今までの悪材料の是正等で経済活動は良くなれないと思う。
		県南	一般小売店	原油価格が値上がり傾向にある。住民税のアップ。
			スナック	お金を使いたくても使えない現状がある。各家庭で余計な支出を控えているようだ。これといった良い事がない。
			コンビニ	国会で年金問題・増税・就職問題に対する改善案が見られなければ、税金を払えない人はどうすれば良いのか？ = 苦しんでいる人はいっぱいいる。収入より各種の税金の方が高い。一般市民のことを考えてもらいたい。
			卸売業	年金問題や住民税等国民が不安視することが多すぎる。地方においては消費が回復しておらず、一部商品の値上げができており、さらに厳しい状況となる。
		下北	スーパー	食品、衣料品とも本当に必要な商品以外購入されていないと強く感じる。
		企業	東青	経営コンサルタント
	津軽			電気機械製造
	津軽		広告・デザイン	先々の成績を示す、見積り依頼件数、物件単価の減少が著しい。
	県南		経営コンサルタント	金利が上昇して、設備投資意欲が低下し、コストアップが全業種にわたって段々と悪影響を及ぼしてくると考える。
建設			建設資材の値上がりが続いており、見積り提出時の有効期限を示さないリスクを負う可能性がでてきている。	
悪くなっている	家計	東青	タクシー	予測するのが難解であるが、8月のねぶた祭りも、市内滞留が少なく通過型の記事を見るにつけ、県市町村に落ちる"金"も少なく、景気は底を突き破る事がない様に祈るだけなのかも。
			津軽	コンビニ
		県南	百貨店	国策である政治に不満。将来に対して希望がもてない環境である。

## 5 . 参考

### ( 参考 1 ) 景気の現状判断

D I

n=99

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>32.0</b>	<b>32.9</b>	<b>31.1</b>	<b>33.7</b>	<b>35.4</b>
家計関連	31.3	32.9	30.7	32.5	35.5
小売	32.5	39.2	34.2	31.7	33.3
飲食	29.2	27.1	29.2	31.8	43.8
サービス	31.5	26.9	27.9	35.6	35.6
住宅	29.2	40.0	29.2	25.0	29.2
企業関連	34.7	34.7	33.3	43.1	34.7
雇用関連	32.1	28.6	28.6	21.4	35.7

回答別構成比 ( % )

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
良い	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	5.0	3.1	7.1	6.1	11.1
どちらとも言えない	42.0	42.9	33.3	42.9	37.4
やや悪い	29.0	32.7	36.4	30.6	33.3
悪い	24.0	20.4	23.2	20.4	18.2

地区別D I

	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月
<b>合 計</b>	<b>32.0</b>	<b>32.9</b>	<b>31.1</b>	<b>33.7</b>	<b>35.4</b>
東青	35.8	27.6	25.0	32.5	30.0
津軽	30.0	35.8	35.0	31.7	35.0
県南	33.3	37.1	33.3	35.7	37.9
下北	22.5	27.5	30.0	37.5	45.0

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	団塊の世代が続々退職しているからか、「年金」の話題が多い。「生活ができない」という悲鳴が聞こえてくる。年金プラスアルファの収入が欲しいとの声に行政は積極的に取り組んでもらいたい。
		家電量販店	県外企業の進出が相次ぎ、限られた市場での競争が激化（全国展開の大手量販店・ホームセンターなど）。
		スナック	今月は選挙ですから、全く見当が付きません。それなりにいろいろと考えて頑張っておりますが本当に不景気続きで、困っております。何とかして欲しいです。
		観光名所等	中国関係の商品が全く動かなくなった。キャラクターグッズが好調。
		旅行代理店	夏祭りが近いため新規開店が増え、開店花が増えている（花屋）。
		美容院	より安全な商品を求めている（食べ物に関しては特に）。
		住宅建設販売	住宅に関するお金のかけ方は低下している。賃貸でも一生よいという考えも増加している。今後この業界は厳しいであろう。
	津軽	コンビニ	事業所の閉鎖に歯止めがかからない印象だ。若年層の県外流出は将来大きな問題になりそうだ。
		衣料専門店	ビジネスホテル開業（2～3ヶ所）あり、ホテルの苦戦まぬかれない。
		一般小売店	若い世代の人達は少子化時代に育っているため、古い世代に比べぜいたくで、高級品がよく売れる。
		一般飲食店	新しいお店もできているが、シャッターの降りている店も多い。
		都市型ホテル	ビジネスホテルの新規開業が間近か。加えて新青森駅開業に向けたホテルの建設が進む。観光業界の対応も活性化してきた。
		旅行代理店	この地域で大手のショッピングセンターの建設が多く見られ、地域の商圈がどのように変化するか注視したいと思います。
		ガソリンスタンド	貸出金利の上昇、貸付基準の強化、大変です。
設計事務所	国会議員の数を他国並に減らすとか思い切ったことしないとこの国は活性化しない。		
住宅建設販売	主人が年収300万位、妻がパート等で100万円位で合算で400万円から450万円位の人達の住宅ローンが金融機関の選別融資で非常に厳しい。		

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	百貨店	消費に敏欲な若年層は収入なく、年配や中高年は消費マインド縮少していると感じています。
		乗用車販売	車両購入に際して、現金購入よりクレジット購入の方が増加傾向にあり。
		一般小売店	しばらく空屋だった所に店が入り、少し安心していたら、中心商店街のファッションビルの閉店が決まり8月までのセールが行われている。
		卸売業	消費に力強さが感じられない中、石油高騰により資材の値上げ、商品の値上げ、金利の上昇等厳しい状況が続くと思われる。
		一般飲食店	民間と行政の協力が必要。
		スナック	議員先生方をお願いします。又、知事、県議員の先生方にも真面目に取り組んでほしい。
		観光名所等	くだものの地方発送をしていますが、お客様に「値段は、去年より少し高めです。」と言うと、「高くてもいいのでお願いします」と返事が返ってきます。
		タクシー	廻りを見ると暗い話題ばかりのようだが、設備投資が増え、建物が建っていると、我々一般人にも仕事が回ってくると思う。
		美容院	新聞で社会保険の未納や記録不備問題でかなり不安材料がサイフのひもを固くしている様に思われます。7～8月の賑わいに期待しています。
		設計事務所	公共事業の削減がかなりダメージである。特に「ハコモノ」。
	下北	スーパー	前年7月のタバコの値上げがあり、値上げ前の需要がかなりあった。今年はその影響でタバコの売上は前年比でかなり悪い。
		一般飲食店	今の状態が続いてくれればよいのですが、何分にも原因が分からないのでいつまで続くのが不安一杯です。
		レストラン	今消えた年金に集中して取り組んで欲しい。とても不安です。
		スナック	都会との格差がますます広がります。
タクシー		石油高騰のあおりから関連商品がジワリ値上げ、タクシーも同様とか。高齢者利用の割合が多くなっている昨今、裏目に出なければと願っています。	
ガソリンスタンド		石油価格の高騰による家計や会社の経費の圧迫が気になる。	
企業	東青	食料品製造	食の安全に対する消費者の目が厳しくなっているのを感じます。
		建設	住宅着工戸数（新設）は、平成16年から3年連続で前年を割り込んでいるものの、当地特有の大降雪に耐えかねたマンション指向は強まっていると思われる、マンションとりわけ分譲のそれは向後の伸びを期待できよう。

分野	地区	業種	自由意見
企業	東青	経営コンサルタント	建設業の受注減が著しい。
		広告・デザイン	発注先、受注先ともに県内だけに留まらず、広がりを見せている。
	津軽	食料品製造	建設関係が非常に厳しいらしい。面接をやると建設関係の方が多く来る。
		飲料品製造	景気ウォッチャー調査の結果を広く広めればいいと思う。
		電気機械製造	本社（山梨）では人材の確保に苦労しています。本県では就職難が続き、地方の格差を感じます。
		建設	参議院選挙が今月ありますが、年金問題等、私達に直接、将来に関係することを真剣に考えて、これからどうするのか示してほしい。
		広告・デザイン	昨今、県の出先機関や職安から来年春の高卒者や高齢者の採用依頼があるが、更なる社員削減はしても増員できる状況ではない。多くの企業はそうではないかと思うが。
	県南	食料品製造	県外に比べ、良/悪両点で影響が出てくる事が遅い本県に対し、素材及び原料の高騰が今後拡大していくことが懸念される。
		飲料品製造	また大手流通、卸が進出。地場酒類問屋を吸収しました。
		電気機械製造	スキルを持ってやる気もある正社員と、派遣社員でなかなかチャンスをつかめない人の差が大きくなっている。高校新卒などの学生には根気よく辞めずに続けることの重要性を理解してもらいたい。一度落ちるとはい上がるのは極めて困難な状況になっています。
		広告・デザイン	見積りなど地元の競争にとどまらず、県外を含めた見積り競争を強いられているため、益々受注できないケースが多く、受注できたとしても利益率はかなり厳しい状況である。
	下北	食料品製造	国の年金問題等で不安と不信があるようです。
雇用	東青	人材派遣	相変わらず振り込め詐欺や催眠商法などのニュースが絶えない。ビックリするくらいの大金なので驚いている。どこから金が出てくるのか不思議である。
	津軽	新聞社求人広告	疲弊している地域経済の中で、地元企業の再起、奮起に期待。中央資本のホテル、マンション建設が盛んに進んでいるが、地元経済が活性化されるとは考えにくい。